

# 英語活動・英語研究委員会

## 1 研究テーマ

子どもたちが、英語に対して興味・関心を高めながら意欲的に取り組む活動はどうあったらよいか。  
～子どもたちが主体的に聞き、話すことのできる場の設定のありかた～

## 2 研究内容（研究課題）

### (1) 研究授業

期 日 平成 20 年 10 月 31 日（金）  
学 校 名 森上小学校  
単 元 名 「6 年智組 誕生パーティーをしよう」  
学 年 6 年  
授業者名 矢野 司教諭

### (2) 研究内容

- ① 子どもたち同士が自然とコミュニケーションできる場面と学習内容の工夫。
- ② 子どもたちが「言いたい・したい」ことを学習活動に取り入れる工夫。
- ③ 中学校との連携をふまえ小学校段階の英語活動でどんな学習活動を行うのか検討。
- ④ 英語ノートの活用の仕方。

## 3 研究の成果

### (1) 指導の実際（本時を中心に）

#### ① 願う子どもの姿

##### 【コミュニケーションしようとする態度】

- ・身振り手振りを使って活動することを楽しみ進んで友と関わりあえる姿。
- ・男女関わらず相談しあったり、教えあったりする学びある活動を通してコミュニケーションを楽しむことができる姿。
- ・友達や教師とのコミュニケーションをゲームなどを通して楽しむことができる姿。

##### 【英語への関心】

- ・フラッシュカードやゲームなどを通して、楽しみながら英語で話しを聞いたり、話したりする姿。
- ・ペア活動やグループ活動での表現方法を相談しあったり、教えあったりしている子ども達の姿。
- ・中学校に向けて英語の関心や意欲が高まっていく姿。

#### ② 授業展開とその実際

##### ・表現との出会いの場面

A：活動する前に場を和ませることができるように、動く活動をたくさん入れる。

◇授業の最初にプリーズゲームを行い、プリーズとついた質問のみ反応する活動を取り入れる。

B：インタビュー活動を取り入れ友とのやりとりを行うようにする



◇Do you want～?を使って友達同士でインタビュー活動し、プロフィールシートに友達が Yes と答えたものを記入した。

C：本時のダイアログを使用する必然性のある場面を設定する。

◇誕生日プレゼントとして何がほしいかわからない状況を設定し、「What do you want?」を導入できる場面を設定した。

#### ・練習の場面

D：必要な練習を変化のある繰り返しで行う。

◇What do you want? I want～. などの表現を繰り返し練習した。

E：友達同士で習った英語を使ったり、ジェスチャーを用いたりし、繰り返し言う場面をつくる。

◇二人一組をつくり、英語カルタを使って、子どもたちが質問したり、質問に答えたりする活動を取り入れた。

F：ゲームを通して繰り返し言う場面をつくる。

◇友が欲しいもの聞いて、それが描かれたカードを取るというゲームを行った。

#### ・コミュニケーション活動の場面

G：大勢の友とコミュニケーション活動をする場面をつくる。

◇プロフィールシートを使って、友達が誕生日に何をほしがっているか実際にインタビュー活動をして調べてみた。

H：自分の聞きたいこと、伝えたいことを話題にする。

◇誕生日プレゼントランキングを当てたいという思いが、意欲的な活動を生んでいた。

I：どう言えばよいかわからない子どもにヒントを与える。

◇カセットレコーダーを用意し、必要な人は使えるようにした。

#### (2) この事例から明らかになったこと

- ① 誕生日プレゼントに何がほしいのか尋ねるという状況設定をすることにより、子ども達が「What do you want?」「I want ～.」を使った表現を自然に理解する姿へとつながった。
- ② カルタゲームや誕生日プレゼントランキングクイズなどのゲーム的な活動を取り入れることにより、「What do you want?」「I want ～.」を使って、楽しみながら友達とコミュニケーションをとることができた。
- ③ 授業の最後に、世界の誕生日について教師が話すことにより、外国の文化に興味をもつ姿が見られた。

#### 4 来年度への課題

- ・小学校と中学校でそれぞれの英語で求められることが違うので、今後、小学校から中学校への英語のつながりが大きな課題となる。その意味で、郡研究会のように小学校・中学校の情報交換が図れる場、研究会を大切にしたい。
- ・カリキュラムを作成する上で、英語ノートの扱いをどうしていくかについて検討が必要である。英語ノートを中心にしてく場合、英語ノートの活用の仕方についても継続して研究していきたい。